

学習指導要領	都立葛飾総合高校 学カスタンダード
(1) 現 代 に 生 き る 自 己 の 課 題 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。	・第二の誕生、周辺人、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を通して、青年期の意義と課題について理解する。 ・青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理についての考察を深め、自らの心を守る防衛機制の働きについて理解する。 ・青年期にアイデンティティを確立するには、自分らしい生き方を求める個性化と、集団や社会に適応する社会と調和させることが重要であることを理解する。 ・他者と共に生きる自己の生き方について、友人や家族など身近な人間関係だけでなく、他の国々の人々とのつながりなどの広い視野に立って考察することが重要であることを理解する。 ・グローバル化の進展を背景とした、日本人としてのアイデンティティの問題などをおして、自己の生き方にかかわる課題が現代の倫理的課題と結び付いていることを理解する。
(2) 人 間 と し て の 在 り 方 生 き 方 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。 ア 人間としての自覚 人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。	・哲学はより良く生きることを、宗教は人間存在を超えた崇高なものを、芸術は美をそれぞれ希求することで、「人間としての自覚」を深める精神の営みとなることを理解する。 ・古代ギリシアの代表的先哲とその思想について理解し、ソクラテスが「ただ生きるのではなく、よく生きる」ことを説き、「魂を善くする」生き方を主張したことなどを知る。 ・啓示宗教の特徴について理解するとともに、民族宗教としてのユダヤ教の特徴やその歴史的展開について知る。 ・イエスの言行について理解を深めるとともに、イエスの死後、パウロらの伝道によってキリスト教が世界宗教として広がる基礎が築かれたことを仰が生まれてキリスト教が誕生したことを知る。 ・イスラム教の誕生について知り、ムハンマドの言行や「六信・五行」などの理解を通して、ムスリムの日常生活や基本的な価値観を理解する。

学習指導要領	都立葛飾総合高校 学カスタンダード
イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	・ルネサンスにおいて、古代ギリシア・ローマの文芸復興が図られ、人間中心主義の文化が形成されたことや、ルターやカルヴァンの宗教改革によって、教会の権威ではなく個人の信仰心を基礎とする考え方が広まったことを知る。 ・コペルニクスやガリレイ、ニュートンの考え方が近代科学の萌芽となり、宗教的な世界観からの転換を促したことを知るとともに、学問的方法論としての帰納法や演繹法について知る。 ・民主社会を支える基本概念として社会契約説があることを知り、自由で平等な個人が国家や社会を形成する過程について、ホッブズ、ロック、ルソーの基本的な考え方について知る。 ・近代市民社会の発展に伴って生じた不平等や貧困などの諸課題に対して、功利主義や社会主義の思想家がそれぞれの視点で問題の解決を図ろうとしてきたことを知る。 ・近代の理性中心的な考え方を問い直し、個人が自己の主体性を回復することの重要性を説いた実存主義の考え方について知る。 ・身近なボランティア活動等を事例として、社会参加と奉仕の意義について考察し、主体的に社会に参加することで得られる喜びや生きがいについて知る。 ・人間は社会的動物であり、社会を構成する人々と共に幸福を分かち合いながら、自己実現に努めていくことが重要であることを知る。 ・バイオテクノロジーや先端的な医療技術の発展に伴って生じる、人間の生命をめぐる諸課題を体系的に考察しようとする生命倫理の考え方について知る。

学習指導要領	都立葛飾総合高校 学カスタンダード
(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。 ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。 イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理	・ 仏陀の生涯について知り、仏教の説く「縁起」の思想や、日本人の生活の中に定着している仏教文化について理解する。 ・ 孔子や孟子の言行について知り、孔子が説く他者を愛する心や思いやりとしての「仁」や、他者を敬う態度やふるまいとしての「礼」について、その今日的意義について理解する。 ・ 古代日本人が、自然神や英雄神などの多様な神々を信仰の対象とし、八百万神が共存する世界観を有していたことについて知る。 ・ 日本人の自然観は、モンスーン型の気候を背景に形成され、自然への畏敬の念や自然と融合した生活が重視されてきたことを知る。 ・ 我が国における仏教の受容について、聖徳太子による仏教導入、国家仏教の成立、日本独自の仏教の発展、民衆の暮らしと仏教のかかわりなどについて知る。 ・ 仏教とともに大陸から伝来した儒教は、江戸時代になると幕藩体制を支える学問として重用され、封建的な身分秩序を思想的に根拠付ける役割を果たしてきたことを知る。 ・ 仏教や儒教のような外来思想に対して、「万葉集」や「古事記」といった我が国独自の古典の研究を基礎として江戸時代に発展した国学の成り立ちについて知る。 ・ 江戸時代の蘭学や洋学の発展、明治時代における天賦人權論や民約論の広がりなどを基に、西洋思想が我が国の近代化に与えた影響について知る。

学習指導要領	都立葛飾総合高校 学カスタンダード
的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	・地球環境問題の現状について理解し、世代間倫理の視点から、現在世代の活動の結果が、将来世代の生存条件に大きな影響を与えることを知る。 ・我が国における家族や地域社会の変容について、核家族化や家族機能の外部化、コミュニティ機能の低下などの現状について知る。 ・多様なメディアを通じて、日々、大量の情報が伝達・消費されている現代の情報社会の現状とその特徴について知る。 ・グローバル化の進展とともに、文化摩擦や外国人差別等の問題が発生するなど、異なる文化や宗教を理解する重要性が高まっていることを知る。 ・国際社会における紛争や民族対立等を抑制していくためには、国際機関との連携を通じて、世界各国が協調して対応する必要があることを知る。